

港北区災害ボランティア連絡会ニュース

事務局 〒222-0032 横浜市港北区大豆戸 13-1 吉田ビル 206 港北区社会福祉協議会

TEL 045-547-2324 FAX045-531-9561

84号

HP <http://kohoku-saibora.jimdo.com>

FB 港北区災害ボランティア連絡会

2020年2月



* 入会は随時受け付けています。あなたの町の防災度を高めるためにお力を貸してください

水害時の逃げ時を知る、「マイ・タイムライン」

セミナー用特別版 ハザードマップの効果倍増 家族で書き込もう

水害が多発する昨今ですが、いつも問題になるのが逃げ時を失ってしまう事です。様子を見ているうちに夜になってしまったり、水位が高くなり逃げられなくなったりしています。被害が起きるまでに比較的時間に余裕がある水害時の避難行動を決めるためのツールが「マイ・タイムライン」です。下図の茅ヶ崎市の例を参考に考えてみましょう。

茅ヶ崎市 湘南地区 □□□家 相模川・マイ・タイムライン 作成年月日 2019年 8月 19日

三日前から0時間(被害が発生する時間)まで(1) 通常の時間(被害が発生する時間)まで(2) 雨風が強くなる前に行う時期

24時間前

18時間前

12時間前

6時間前

1時間前

0時間

平常時の確認事項

●自宅の状況を確認 自宅の危険性についてハザードマップから確認しましょう。

●避難する場所 実際に避難した場合、どのような場所なら避難生活ができるかを考えましょう。

●避難する場所までの交通手段 交通手段: 徒歩

●避難する際に 支援してくれる人 名前: _____ 電話: _____

●避難を開始するタイミング タイミング: 避難準備・高齢者等避難開始が発令された時

●必要な物を準備

- 非常用持出袋
- 身分証明書(運転免許証)のコピー
- 緊急時の家族、親戚、知人の連絡先
- 非常食、飲料水
- 持病薬、お薬手帳
- 軍手
- 雨具(レインコート)
- 着替え(下着を含む)
- タオル、ウェットティッシュ
- 携帯電話(充電器を含む)
- 携帯ラジオ(予備電池を含む)
- 懐中電灯(予備電池を含む)

ポイント
「どのような施設への避難が自分にとって必要か」ということを考え、実際に避難するために「どこへ」、「誰と一緒に」、「どれくらいの時間で」、「どのような手段で」、「何を持って」避難するかを考えましょう。

自分の状況を事前に確認しておく

情報を得る

避難時の注意点

気象・行政の情報

3日前

- 台風予報
- 相模川の氾濫が想定される大規模な台風の予報
- 台風に関する気象情報

24時間前

★豪雨災害のおそれに関する緊急会見(気象庁および国土交通省)

○大雨・洪水注意報

警戒レベル3

避難準備・高齢者等避難開始を発令(緊急速報メール)

18時間前

○大雨・洪水警報

警戒レベル4

避難勧告を発令(緊急速報メール)

避難指示(緊急)を発令(※)

※地域の状況に応じて緊急的又は重ねて避難を促す場合等に発令

12時間前

○大雨特別警報(緊急速報メール)

6時間前

○台風上陸

1時間前

○相模川が氾濫危険水位に到達(緊急速報メール)

警戒レベル5

○相模川が氾濫(緊急速報メール)

避難のポイント

●実際に避難するために必要なことを考えましょう。

- テレビ等で天気予報を確認
- 避難場所、避難経路の再確認
- 家族の予定の確認
- 非常用持出袋の再確認
- 持病薬の準備
- 携帯電話の充電
- 大切なものを2階に上げる
- 家の周りの側溝の清掃
- 家の周りがある風に飛ばされそうな物の片付け
- 自宅の浸水しそうな箇所に土のうの設置

ポイント
「1階が浸水する場合は物を2階に上げる。」「薬などの必要なものを準備する。」「ベッドを親戚に預ける」など、必要な行動をまとめましょう。

●避難する際の注意点を考えましょう。

- 非常用持出袋を持って避難
- 近所の人に避難することを連絡
- 動きやすい服、靴を履いて避難
- 川の水位をインターネットで確認
- 戸締まり、電源ブレーカーを切る
- おじいちゃんには杖を持って避難

ポイント
避難する場所・距離などにより避難するタイミングは異なります。自宅の外に避難する場合は雨が強く降る前には、避難を開始しましょう。

ここまでで避難を完了

●避難が完了していない場合は、直ちに避難を開始してください。外に避難することによって命の危険がある場合は、その時点にいる建物内の安全な場所で、安全を確保してください。

●自分の状況を家族や親戚などに連絡しましょう。

■家族や親戚の情報

名前	電話番号	必需品	昼の居場所	備考
例) 防災 太郎	090-****-****	血圧を下げる薬	デイサービス	足をけがしている
茅ヶ崎 一郎	090-****-****	メガネ	会社	通勤時間30分
茅ヶ崎 友子	090-****-****		自宅	
茅ヶ崎 二郎	090-****-****	喘息の薬	□□中学校	
茅ヶ崎 太郎	0467-**-****	持病薬、お薬手帳	デイサービス	杖が必要

マイ・タイムラインは2015年9月の北関東・東北豪雨で市域の1/3が浸水被害を受けた常総市を始め周辺自治体と国土交通省関東地方整備局が、被害軽減を目的に「正しい逃げ時」を個人個人が決められるようにする手助けとして作った物です。

地震時の行動を考える道具としてある「目黒巻」は発生予測が立たない地震ですから、発災後にどのような行動を取り、生活がどうなるかを考えることを通して減災を考えるためのツールです。

目黒巻の記入用紙 災害発生後の状況をイメージし、自分を主人公とした物語を作る

災害の種類を設定

地震 目黒巻 震度6強 地震発生 TIME → a.m.10:30

記入日 2005.1.29(土)

設定

季節 冬 天気 晴れ

時刻 a.m.10:30

記入者 生産研太

災害発生時の状況 (どこで待っていたか)等

子供たちを広い所にあつめ、大人二人で囲んで守る。

揺れが収まったら園にTE

災害発生時の条件を設定

災害時の状況を記入

目黒巻記入例

一方「マイ・タイムライン」は、降雨の状態や周囲の状況を考えながら、個人の事情に合わせてどのように行動すれば良いかを発災前に決めておき、被害を起こさないためのツールです。

高齢なら避難に時間がかかる、夜の避難は絶対避けたい、家族がばらばらならどうするかなど、ハザードマップだけでは読み取りきれない個人の様子をもとに、家族で話し合いながら記入することで、いざという時に余裕を持って避難することができる筈です。

東京都でも「東京マイ・タイムライン」をHPに載せています。各自治体の例を見比べながら使い勝手をご家族で考えてみましょう。

今年も大型台風は必ず来ます。

(宇田川)

アソシエ「防災減災らぼ」は 学び合いの場

一昨年からフォーラム・アソシエでは「防災減災らぼ」を企画しています。「らぼ」はlaboratory(ラボラトリー)からとった言葉で、もともとは研究所、実験授業といった意味を持っています。防災のセミナーは巷にも数多くありますが、大人数の講義で聞くだけに終わりがちです。アソシエの「らぼ」は、時間を3時間としっかりとって、講師の話にプラスして受講者の意見交換や情報交換で組み立てられています。積極的に主体的のその場に参加することで、防災に関する自分の疑問を解消し、ネットワークづくりもできる場になっています。連続講座にすることで、さまざまな切り口がある防災を広い視野でとらえたり、学んだりすることができます。

2018年度からのプログラム

- ① My 減災マップを作ろう
- ② ローリングストック料理ワークショップ
- ③ 何を手放し、何を残すか、家族を守る整理収納
- ④ 避難所運営ゲーム HUG
- ⑤ 生き残る防災、ママの視点で
- ⑥ 緊急時の子どもの心のケアを学ぶ
- ⑦ 子どもの命を守る教育現場の備え
- ⑧ 一番大切な備え～生きのびるための住まいの防災対策
- ⑨ 災害時に乳幼児を連れたママ・プレママを守る
- ⑩ 災害時のトイレ事情と備え



受講者は地域で防災活動をしている方や、小さいお子さんがいて災害に不安を持ってる方が多いです。知らないことがたくさんあって勉強になった、参加型の講座でわかりやすかった、実際に活動している方との話し合いもためになった、などの感想をいただいています。

(NPO 法人フォーラム・アソシエー政伸子)

ようこそ災ボラへ

<新事務局次長 梶山さん>

12月1日より高根澤の後任で事務局次長に着任しました梶山辰吉です。以前は法人本部の介護保険事業の統括部門、地域ケアプラザではデイサービスやケアマネジャー部門に勤務しておりました。異動後、約2カ月が経過し、少しずつではありますが、港北区の各地区の状況や災害ボランティア連絡会の活動について、学んでいるところです。

私自身のこれまでの災害との関わりですが、関東ブロック社協の災害派遣に三度参加させていただきました。東日本大震災では岩手県釜石市、平成30年の西日本豪雨では広島県呉市、そして昨年は千葉県南房総市において、災害ボランティアセンターで活動をして参りました。それぞれ被災状況（津波・水害・風害）や派遣時期も異なっていたため、ニーズやボランティア人数等も様々であり、活動も実地調査や避難所巡回、ボランティア受付等、多岐に関わらせていただきました。

また、昨年の台風19号では横浜市でも避難所が開設され、改めて「我が事」として捉える機会となり、いつ発災してもおかしくない状況となっています。日常的な地域のつながりづくりや私たち自身の意識を高めていくとともに、これまでの災害派遣の経験を活かしつつ、港北区災害ボランティア連絡会で行える活動を会員の皆様と一緒に考え、備えを十分に進めていきたいと思えます。

最後に私事の自己紹介ではありますが、生まれも育ちも神奈川県のア野で丹沢の山々に

囲まれた地で今も過ごしております。高校まで野球少年でしたが、就職してからは運動と縁遠くなり、最近では野外フェスをはじめ、音楽を聴くことが楽しみとなっています。

まだまだ不慣れな点もありますが、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

水害被害の無い場所に住む

契約時に水害リスク説明義務化

一番良い水害対策は出水の危険性のある所には住まないことです。といっても既に住んでいる場所から移る事は簡単ではありません。しかし新居を構える場合には重要な条件として考慮する必要があります。国交省は不動産業者に対し水害リスクを購入や入居の希望者に説明するよう義務付ける方針です。すでに津波や土砂災害の危険性は重要事項説明書に書き込まなければいけないことになっています。

昨年の台風19号で被害を受けた郡山市では、東日本大震災で被災して郡山市内に新居を購入した人がまた水没被害を受けると言う悲劇が起きています。地元の過去の被害情報を知らなかったための出来事でした。

(宇田川)

災ボラセミナー2019

「台風19号港北区の現実

水害被災地の現実」

多くの被害が区内でも出た昨年の台風を振り返り、どう準備すれば良いか、事後対応では何が必要かを、港北区役所と水害被災地常総市から話をいただき、港北区での備えを考えます。

今回避難所を開設した地域の自治会・町内会関係の方にもお勧めの企画です。

命、自宅、生活を守るためにはどうしたら良いかご一緒に考えましょう。

日時：3月15日（日）9時半～12時半

会場：港北区役所4階会議室

保険豆知識

車両保険は地震の被害でも

使えるか？

車は家に次いでの高額商品です。しかし皆さんは車両保険をかけていますか。ベテランになったり、車が古くなるとかけない人が多くなります。しかしこんな場合もカバーしてくれるのです。

①車両同士の事故、自損事故、落下物、飛び石、火災、盗難、など一般的な場合の他

②台風、洪水、竜巻、高潮、豪雨、積雪、落雷、氷などの自然災害

予期せぬ自然災害が多くなった最近考えた方が良いかもしれません。しかしこの中で入っていないのが地震や噴火、津波です。それらは発生確率や被害規模のリスク予測が難しいため補償対象外なのです。しかし保険会社によっては特約もあるようです。皆さんどうしていますか。 (宇田川)

お勧め災害本

「PUBLIC HACK」

笹尾和宏著

学芸出版社

2,000円＋税

災害とは直接関係ない内容ですが、自助や共助を考える際

のヒントが載っておりお勧めです。

PUBLIC HACKとは公的空間を自由に使う活動から、そのまちらしい魅力を作り出す動きだそうです。

著者は「街が無菌化した」と危惧します。屋台が取り締まられ、路上ライブや大道芸は専用スペースでなければできない規制が生まれ、公園にも禁止看板が立つ状況が有るからです。



さまざまなつながりを生み出す触媒が、まちの中にも多くある広場です。広場を持つ国は数多く有ります。

災害時の避難所は公的空間であるとともに、それぞれのスペースは私的空間でもあります。避難所で公と私をどう調和させるのかは難しい問題です。そのヒントがこの本にあります。実践例1、水辺ダイナー 川縁にテーブルを出し、食事を楽しむ

実践例2、芝生シアター 公園に幕を張りプロジェクターで映画を楽しむ

実践例3、くにたち0円ショップ 路上で不要品の0円ショップを開催する

法的问题の解説も載っており、不必要に萎縮する必要は無いことも解説しています。

災害時に求められることは自主的に動くことですが、他人任せ、知らん振り、役所に解決を求める姿勢が強まっていると感じませんか。普段からまち中でこんな事をやっている、地域でのつながり方が違ってくるのではと考えさせられる本です。 (宇田川)

編集後記

☆拡大役員会的な集まりの定例会が続いています。多くの会員の意見が会を動かして行きます。(宇田川)

☆今回は「保険豆知識」まで宇田川さんに書いてもらってしまいました。次回頑張ります。(中島一)

☆阪神大震災から25年。できることで連絡会へと思い参加。昨今のさまざまな災害に不安ばかり。(付岡)

☆1ページ目のマイ・タイムラインシートは茅ヶ崎市のHPからダウンロードできます。(室伏)